



あけぼのつうしん

令和5年（2023年）8月13日発行

No.84

〔目次〕

■ 注目！ notable case ～道内図書館（室）トピックス～	…… 1
○ 滝川市立図書館 「古本もってけ祭 in ありす祭」を開催して	
○ 斜里町立図書館 中高生を呼び込みたい！	
○ 石狩市民図書館 市内郵便局に「図書館コーナー」を設置	
○ 芽室町図書館 ICTを活用して図書館を利用しない町民の声も聞く	
○ ニセコ町学習交流センター 「あそぶっく祭り」開催！	
○ 日高管内図書館振興協議会 『日高管内図書館（室）紹介 2023』発行	
■ 令和5年度図書館活動支援事業レポート	…… 7
【講師派遣】当別町教育委員会 「より良い図書館づくりに向けた意見交換会」	
【講師派遣】市立名寄図書館職員研修「これからの図書館に求められる役割と意義」	
■ 《小特集》学校図書館への支援活動	…… 8
・【学校図書館環境改善】子どもが集まる学校図書館の環境づくりを！（様似町立様似小学校）	
・【学校ブックフェスティバル】児童の熱気に包まれた！（根室市立花咲小学校）	
・【学校図書館講師派遣】「わたしの推し本どうアピール？ ～この1冊！の展示～」 (北海道高等学校文化連盟室蘭支部図書研究大会第1分科会)	
・「児童・生徒にとっても身近で頼られる存在に」～学校図書館協力貸出しと電子図書館の推進～	
・Web会議「道立高等学校における道立図書館の活用促進に係る説明会」	
■ こどもの読書週間の行事から	…… 13
■ 道内図書館キャラクター紹介！ Vol.6	…… 17
・中標津町図書館キャラクター	
■ 管内図書館協議会研修会の企画・運営について Part.2	…… 18
■ お知らせ・お役立ち情報	…… 20
○ サポートボックス継続募集！	
○ 第63回北海道図書館大会を開催します。	
○ 2023年春 こどもの読書週間の主な講師等一覧	
○ 令和5年度「北海道青少年のための200冊」選定	
○ 津別町図書館オープン！ 道内の図書館設置率60.3%に！	
■ 編集後記	…… 25



北海道立図書館

■注目！ notable case ～道内図書館(室)トピックス～

Case 1 「古本もってけ祭 in ありす祭」を開催して 滝川市立図書館

滝川市立図書館では毎年『古本もってけ祭』を開催しています。市民のみなさんからご寄贈いただいた本や図書館で役目を終えた本を無償で提供するイベントです。全道各地の図書館でもいろいろな形で開催されているかと思いますが、よその図書館と少し違うのは、連携先が主催するイベントと一緒に、スペースをお借りして開催しているところです。図書館独自で市役所1階のロビースペースを全面利用して開催したこともありましたが、予想以上に参加が多く安全確保が難しかったことも連携の要因の1つで



す。

ある時は自動車学校のフリーマーケットやステージイベントに合わせて教習場のコースの一角で、ある時はお寺でキッチンカーや農家さんが販売ブースを出展するマルシェに合わせて本堂をお借りして開催するなど、その年々で状況に合わせて開催してきました。

今年度は、市内にある國學院大學北海道短期大学部の『ありす祭』に合わせて開催いたしました。当館は同校の図書館と連携協定を結んでおり、昨年10周年を迎え、連携をより深めるために初めて開催することとしました。体育館

を全面お借りしたため広いスペースが確保でき、なおかつ雨天の心配がいらぬというのは大きな魅力でした。

当日は、体育館側、校舎側のそれぞれの入口には開場待ちの長蛇の列ができました。『古本もってけ祭』を楽しみにしてくださっているのが伝わり、私達スタッフもとても嬉しい気持ちでいっぱいでした。学生さんや学校関係者をはじめ、『ありす祭』を目的に来られた方々、そして『古本もってけ祭』へ足を運んでくださった方々がそれぞれ行き来して下さったので、『古本もってけ祭』としては、過去最高の856名の参加がありました。2,500冊の本は30分程度で大半がなくなってしまう程盛況でした。後半は少ない冊数の中であ



りましたが、それぞれがお気に入りを見つけてお持ち帰りくださり、「眺めているともう1冊、もう1冊と持って帰りたくなりました！」「来年も楽しみにしています！！」など、嬉しいお言葉を沢山いただきました。本をもらった後に『ありす祭』を訪れてくれる方がとても多かったことから、「古本もってけ祭効果だ！」と短大事務局のみなさんにも喜んでいただけました。また、来年も地域のみなさんに喜んでいただける取組を共に行っていけたらと思います。

(寄稿：滝川市立図書館 深村 清美 氏)

当館は中学校とほぼ隣接した形で設置されていますが、中学生の利用が伸びない状況です。こんなに近いのに…。

小学生の利用ニーズは高いものの、中学生になるとそれがガクンと下がります。部活や塾など、社会活動の範囲が広がっていく中で仕方がない部分もありますが、偏りがちなスマホだけの情報が世界のすべてだと思ってほしくない！ 社会には答えが一つではないこと、または答えがないことも多々あります。「リベラルアーツ」という言葉があるように、子どもたちには「物事にはいろいろな見方があるのだ」ということを知ってほしい。また、人との関わりの中から自己の確立を促すための居場所として、図書館が力を発揮する(しなければならない)ことが必要と考え、中高生の利用を高める取り組みを進めています。

○職員内でブレインストーミング

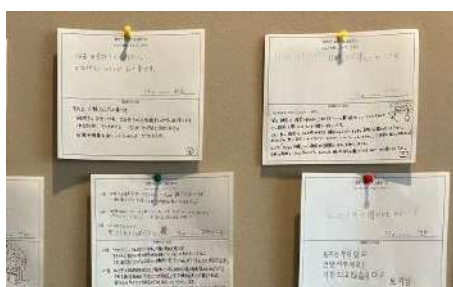
職員内でも、あえて言葉にはしないで個々の中に様々なアイデアを持っているのでは？と思い、「中高生の来館者を増やすには」をテーマにブレインストーミングを実施しました。出るわ出るわ、アイデアが。

それらをもとに、面白そうなものから具現化を図っています。



○道路に看板

中学生は下校の際、当館横の道路を通ります。その途中(館への分岐点)に看板を設置しました。掲示内容は「心理テスト」など。問題のみ掲示し、答えは館内でお知らせしています。答えを見ていない“気持ち悪さ”を来館につなげたいというところ です。



○交流掲示板

中高生と図書館職員との紙面における雑談的なやりとりについて、掲示板形式で貼り出すものです。昨年度の全道図書館長会議で頂いた講演をヒントにつくりました。7月に始めたばかりで成果はこれからですが、様々な投書を期待しています。

○アイス自販機

部活帰り等の生徒が寄り、友達とアイスを食べながら談笑する場面をよく見かけるようになりました。コロナ禍で集まる・話す機会が得られにくい期間続いた中、何気ない会話の場の提供ができたという点でも、設置して良かったと思います。また、休日には親子連れで利用している様子も増えています。





○消しカス入れ

中高生の利用が一番多いのは「テスト前」。この時期に来館し勉強していますが、館内には缶・ペットボトル用以外のごみ箱を設置していません。それ以外は持ち帰りとなりますが、消しゴムのカスくらいは捨てられるようにと、コピー用紙の包み紙を箱型に折りメッセージを加えたものを置いています。これが好印象で「図書館の人は優しい」「嫌な勉強でも元気が出た」と直に言われました。

いずれのアイデアも「そんなことか」と思うくらいの小さなものです。

でもそんな、つかず離れず適度な距離感をもった小さな積み重ねが、中高生との信頼関係を築いていくのではと感じています。

○これから

図書館の持つイメージである「本を読むところ」さらには「本を読まない人は行ってはいけないところ」を覆さないでいます。くつろぐだけ、友達と話すだけでも十分だと思います。

同時に「話す」と「騒ぐ」は違う」を認識し、公共施設の利用を通じて社会との関わり方を学ぶ施設であるとも考えています。本から得る教養、他者との関わりの中から実体験として得る知識。その両方を図書館として担いたいところです。

とはいっても、あまり気負わず「まずは1回やってみる。ダメだと思ったら秒でやめる」のスタンスで取り組んでいこうと思います。

さらに、図書館同士、もっとつながりたいというのが本音です。

生活様式の変化に伴い館運営の課題も変容していく中、図書館同士は「仲間」です。司書だけでなく館長同士も、事業の実施内容を話す機会、さらに言えば成功事例だけでなく失敗事例を含めてもっと気軽に情報交換できる場面があれば良いと思っています。

(寄稿：斜里町立図書館 松井 卓哉 氏)

Case3 市内郵便局に「図書館コーナー」を設置

石狩市民図書館



郵便局に「図書館コーナー」があって数十冊程度の本があり、市民は好きな本を選んで自宅でも読むことができる…。こんな取組を石狩市民図書館は令和5年4月から始めました（石狩市と石狩市内郵便局との包括連携に関する協定の一環だそうです）。

郵便局に配置している本は、全て図書館で除籍した本のため、貸出手続きは不要としています。ただし、多くの市民が利用できるよう、読み終わった後は、すみやかに各郵便局へ戻してくださるよう呼びかけています。

石狩市内には14の郵便局があります。それぞれの「石狩市民図書館コーナー」で偶然手にした本がきっかけとなって、図書館を利用していなかった市民の足が図書館に向かえば…と期待します。

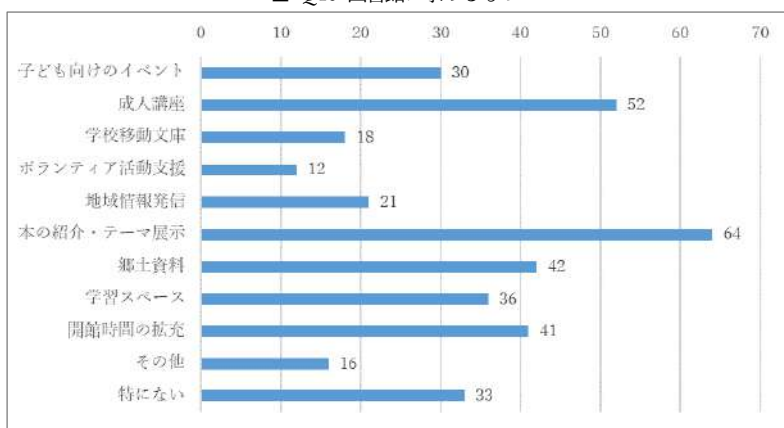
(情報提供：石狩市民図書館 吉岡 律子 氏)

Case4 ICT を活用して図書館を利用しない町民の声も聞く 芽室町図書館

令和5年3月に芽室町図書館では利用アンケートを実施しました。コロナ禍を挟んだため4年振りとなりました。これまではペーパーのみ、来館者対象だけでしたが、Google フォームを用いてネット上で図書館の未利用者も対象にして広く回答を集めることができました。また、町のLINEともだち登録者にも一斉メール送信して協力をお願いし、来館者の3倍以上の回答をいただくことができました。

アンケート結果では、前回（平成30年度：平成31年3月実施）と比べると、施設や職員について「良い」とした割合が大幅に減り、その分が「普通」に移りかわっているように見えます。いくつか原因を推察できますが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の取組にともなうものが大きいと思います。各種の措置が施設の使いにくさ、窓口での不自由さに結びついたと考えます。

■ Q10 図書館に求めるもの



図書館に求める情報やものについての変化も見受けられます。新刊情報が欲しいと回答した方がこれまで一番多かったのですが、今回はおすすめ本の紹介を求める声と同数となりました。各種のレビューを参考にする気運が図書館においても高まっているのかと感じられます。

求めるものについて前回まで多かったのは子供に関する項目でしたが、今回は成人に関する項目が伸び

ており、子供の数の減少と図書館ユーザーの高齢化が反映されてきているように感じます。

今回は初めて図書館の未利用者へもアンケートを行うことができました。インターネットを活用することで大きな労力なしにでき、ICTの恩恵にあずかることができました。

なぜ図書館を利用しないか、との問いには順に「本は買って読む」、「返すのが面倒」、「家から遠い」となりました。未利用者の多くは男性、成人、就労者の三つが重なる層だと思いますし、その部分の意見のように思われます。ただ、肝心なのは、図書館がその方たちに利用したくなるだけの魅力を発信していない（届いていない）ということだけは自戒しなければならないと思います。

1カ月で何冊の本を読んだかの問いに対しては、1冊も読んでいない方が24%となりました。6冊以上読む方はかなりの読書家とイメージしていましたが、実際は3%のみでした。電子書籍だけしか読まない方が9%となりましたが、今年度、当町では電子図書館を導入する予定であり心強く感じました。

満足度の設問項目では表れない改善のヒントが自由記載の中にはいろいろとありました。「図書館だから・・・」の固定概念から脱却し、新しい図書館スタイルに踏み込んでいけるよう1件1件の声に耳を傾けて知恵を絞っていきたいものです。

なお、アンケート結果全文については芽室町役場ホームページ・教育委員会からのお知らせ欄から見ることができますのでご参照ください。

※ アンケート結果；芽室町ホーム > 役場からの情報 > 役場の各課・施設のご案内 > 教育委員会 > 図書館の利用 > 令和4年度芽室町図書館利用者アンケート結果

(寄稿：芽室町図書館 藤澤 英樹 氏)

Case5 「あそぶっく祭り」開催！

ニセコ町学習交流センター

「第19回あそぶっく祭り」を開催しました。会場を2つ用意して図書館では、なぞときをしながら本を探す「本のなぞときイベント」、図書館から徒歩2分の場所にある町民センターでは、読み聞かせの他、ボランティアさんによる人形劇の上演、ニセコ中学校軽音楽部の演奏、町内で活動をする音楽グループのミニコンサート、大道芸、くじ、古本市、バザー、パネルクイズと盛りだくさんの内容になりました。

毎年6月に開催してきたこのイベントは、図書館が主体となりボランティアグループ、役場職員、地域おこし協力隊、国際交流員らによる実行委員会が総力挙げて取り組む一大イベントです。娯楽施設が少なく、年間行事として参加できる「祭り」は限られてるニセコ町の子もたちが、安心して楽しめる貴重な行事の一つになっており、また開催する側の大人たちにとっても、地域の人たちが同じ目的を持って交流する意味のあるものとなっています。

会場は、コロナ禍の影響で昨年2022年からは町民センターを使用していますが、そのため、図書館では並行して別のイベントができるという利点が生まれました。そこで、今回は町民が持ち込んだ企画とコラボして「本のなぞときイベント」を開催しました。



【本のなぞときイベント】

謎ときとミッションを執行することで子どもたちがグループで司書の仕事を体験する。

① 謎とき

- ・「この本のタイトルはなに？」という質問の他に資料登録番号や本の内容、著者等が書かれた謎ときカードを子どもたちに配付します。
- ・それをヒントにパソコンで蔵書検索をし、または実際に棚を見て本のタイトルを探し出します。

② ミッション

(ミッション)

- ・町のひとたちがどんな図書館を望んでいるのかを知る。
- ・本を探している人がいたらどんな本が読みたいかを調べる。

(アクション)

- ・ミッション遂行のために用意されたミッションカードと地図を持って、町民センターや小学校、商店などを町内を散策してミッション遂行のヒントを持った人を探します。
- ・図書館に戻り各自が得たテーマや情報をまとめて、それに合う本を棚から選びます。
- ・選んだ本の「おすすめコメント」を作ります。

子どもたちが選んだ本は、カバーをかけて（タイトルなどが見えないようにして）「(子どもたちが作った) おすすめコメント」を付け、展示し貸し出します。

「あそぶっく祭り」の当初の目的は、図書館の存在を知ってもらう、子どもたちに足を運んでもらうきっかけづくりというものでした。この点は現在も同様ですが、日本のお祭り文化の一つである縁日や出し物などの風習は、子どもから大人まで楽しむことができます。また、図書館は本だけではないことを知ってもらうことも重要な意義だと考えています。回数を重ねるたびに、私たち職員も新たな可能性の発見もありますので、どう進化させていくのかは私たちの今後の課題の一つになっています。

「あそぶっく祭り」で子どもたちが真剣に楽しんでいる姿や成功のために奮闘している町民のみなさんの姿を見ると、今年も開催してよかったと実感できるイベントの一つになっています。

(寄稿：ニセコ町学習交流センター 小坂 みゆき 氏)

Case 6 『日高管内図書館（室）紹介 2023』発行

日高管内図書館振興協議会



↑基本情報を記載している左ページ。
↓右ページは各館担当者におまかせし、
バラエティ豊かな紹介ページに。



日高管内図書館振興協議会では、管内にある7町9館の図書館（室）の基本情報（所在地や連絡先、簡単な利用案内、施設設備など）と各館の特徴や担当者のおすすめ情報を見開きでまとめた『日高管内図書館（室）紹介 2023年版』を発行しました。

■ 日高管内図書館振興協議会（以下、日図振）とは

日高管内7町9館で構成され、1977年に設立された図書館の振興を図ることを目的とした団体です。日図振では、概ね2年毎に研究テーマを設定し、年5回程度の担当者会議（勉強会）や先進地視察を含む研究集會を年1回開催し、職員の研修と連絡協調のために活動しています。おおよそ2カ月に1回顔を合わせていることから、「気軽に聞き合える、相談できる」関係を築けていると感じています。

■ 冊子の内容、発行の経緯

2016年頃に取り組んでいた「日高管内図書館（室）調査」という研究テーマが元となり、2018年に『図書館・図書室案内』という冊子を発行しました。見開き2ページで各館（室）を紹介しており、左ページには利用案内等の基本情報、右ページには「こんな本あります」「おすすめポイント」の2つの情報を掲載していました。

2019年版は軽微な情報の改訂でしたが、今回の2023年版では右ページを各館の担当者が「自由に自館（室）をアピールするページ」に変更しました。巻末には所在地マップを掲載し、隣の図書館まで何分かが分かるようにしていますので、図書館巡りのお供に、と観光で訪れた方にもおすすめしています。

■ 印刷、そしてその後

今回、大幅改訂したのできちんとした「冊子」として残したいと考えていたところ、日高管内社会教育職員研究協議会図書館部会との共編とすることで助成を受けられました。印刷所はオンライン入稿が可能で安価なラクスルを利用。300部発注し各館に希望部数を振り分けました。配布を始めると利用者の方からも好評で、「管内の他の図書館にも行ってみたいくなった」などの声もいただき、当館では50部が2カ月もしないうちに全て配布終了しました。その後は手刷りし、地道に配布数を伸ばしています。

この取り組みは、編集作業から印刷所に出すまでを自分たちでやることで、工程や構成、意見のすり合わせなど、学ぶことが多かったと感じています。反省点としては、作業の期間が半年程度と短かったため、各担当の負担が大きくなってしまったことが挙げられます。通常業務との兼ね合いを考慮すると、新規で作成する場合には10回以上の会議を設け、少なくとも2年はかけたほうがよいと思います。皆さんの管内でも、自分たちの技術向上のため、また、地域全体の図書館振興のためにもぜひ作ってみてはいかがでしょうか。

※ 冊子の書誌事項：日高管内図書館（室）紹介、日高管内図書館振興協議会書部会、日高管内社会教育職員研究協議会図書館部会編集発行、2023.3 24p, 21cm.

（寄稿：日高町立門別図書館郷土資料館 島田 菜々 氏）

■ 令和5年度図書館活動支援事業レポート

【講師派遣】当別町教育委員会「より良い図書館づくりに向けた意見交換会」



開催告知チラシ

当別町図書館は、令和6年秋にJR当別駅南口に建設予定の民間複合ビルの2階・3階に移転する予定です。このことに係り当別町教育委員会は、町民の声を聞く機会として標記のワークショップを開催しました。

最初に当別町教育委員会社会教育課長（図書館長）から、移転の概要について説明に続いて、当館からは、検討材料として新図書館の整備・運営に向けた論点整理や当別町図書館の現状と課題をまとめた資料を提供するとともに、近年道内で建設された図書館をスライド（動画）で紹介しました。その後、参加者は教育委員会から配付された「図書館プランイメージ」と「図書館移転位置図」を参照しながら、グループごとに自由に意見交換を行いました。最後に、グループで出された意見等が報告され、図書館への期待の大きさが感じられました。

現在の図書館は、昭和52（1977）年に建設された学習交流センター内にありますが、図書館設置条例は令和2（2020）年4月に施行された新しい図書館です。移転した図書館が町民の皆さんの声を反映した魅力的な図書館となることを期待しています。

【講師派遣】市立名寄図書館職員研修「これからの図書館に求められる役割と意義」



配付資料から

昭和45（1970）年竣工の市立名寄図書館は、老朽化や現状のサービス提供に不都合が生じる課題を抱えています。市では市公共施設等再配置計画により、図書館・児童センター・大学学生寮・高齢者向けの生活支援ハウス・ワーケーション施設の5施設を街中へ再配置すべく検討を始めており、図書館では新築に向け標記の職員研修会を6月30日（金）に開催し講師として参加しました。

配付資料は、「現代の図書館像」、「図書館の論点整理」、「市立名寄図書館の現状と課題」、「新図書館の整備に向けて」、「図書館づくりのプロセス」の項目立てで作成し、「今、求められる図書館運営」や「図書館職員（司書）の意識改革の必要性」等を提示しました。また名寄市作成の「新図書館整備コンセプト（案）」を基に、追加すべき事柄や現行規程類の見直し等、新図書館のあり方について考察を深めました。

名寄市では、今後も関係職員の先進地視察や市民向けの講演会を実施して、多様な面から情報を収集しながら新施設の充実にに向けて検討を重ね、具体的な計画へと進めていきます。

■ 《小特集》 学校図書館への支援活動

今年度、市町村活動支援事業を「図書館活動支援事業」と改め、事業の組み立てを①市町村支援事業（重点サポート・講師派遣・運営相談）、②学校図書館支援事業（学校図書館環境改善、学校図書館講師派遣、学校図書館運営相談、学校ブックフェスティバル）、③支援貸出事業（サポートボックス、大量一括貸出し、事業貸出し）の3つの柱に整理しました。その中でも、学校図書館支援事業は、「学校図書館協力貸出し」の利用促進も含め、特に力を注いでいます。

今号では、小特集として、既に実施した学校図書館支援の一部を紹介します。

【学校図書館環境改善】子どもが集まる学校図書館の環境づくりを！

（様似町立様似小学校）

5月中旬に様似町立様似小学校を訪問し、学校図書館の環境改善と利用活性化について運営相談を行いました。

オープンスペースの明るい雰囲気、いつでも入れる学校図書館ですが、教室とは少し離れた場所にあることもあって利用数は下降気味。児童の読書意欲の向上が課題です。様似町では、一昨年度の「学校ブックフェスティバル（道立図書館事業）」をきっかけに学校と町立図書館の連携が進み、図書の貸出しだけでなく、司書の学校訪問や除架・除籍、書架整備の支援なども行われています。

当日は、学校の図書担当の先生に加えて、町立様似図書館の館長や司書さんも交えて、面出しや掲示物による“見せ方”の工夫や、その効果を上げるため、さらに除架を進める必要など、今後取り組んでいくことを確認しました。また、くつろぎスペースとしての図書館の意義についても助言し、子どもたちにとって魅力ある場所となるような環境改善についても、アイデアを共有しました。学校図書館オリエンテーションや図書委員会活動についても司書が関わっていくことや、町立図書館の閉架書庫の児童書を学校で活用することなども今後の検討課題としました。

日高管内では様々な取組で連携が進んでおり、学校図書館への支援についても、地域での情報交換や好事例の共有が進んでいくことを期待しています。



（写真：左→右）カウンター前にミニ展示コーナーを作成。書架の図鑑は、表紙が見えるように並び替え。

【学校ブックフェスティバル】 児童の熱気に包まれた！

(根室市立花咲小学校)

学校図書館支援事業の中でも、例年多数のお申込みをいただいている学校ブックフェスティバル。初めて実施する市町村や長らくご無沙汰している市町村へは、道立図書館職員が訪問し、そのお手伝いをしています。今年のトップバッターは5月に行われた根室市立花咲小学校。まだまだ夜は肌寒い季節でしたが、ブックフェスティバル会場は児童の熱気に包まれていました。

児童数:143名

用意した児童書:1,500冊

しかけ絵本:80冊

おはなし迷路:2枚

会場である体育館を半面に区切り、前方をおはなし会場、後方を本を広げるスペースとし、前日から準備しました。市内の他施設から借用した百人一首大会用の赤いマットを体育館の床に敷き、そのうえに道立図書館から送付した児童書をばらばらに並べます。

そのほか用意した長机にはしかけ絵本、壁にはおはなし迷路も忘れずに設置し、図書担当の先生の司会で会がスタートしました。開催時間を二部制（低学年、高学年）に分け、それぞれの本の貸出し時間前には、根室市図書館職員の方々の絵本の読み聞かせや紙芝居で、会場は児童の楽しそうな声でいっぱいになりました。

貸出しが終わっても座り込んでじっくり本を読んだり、しかけ絵本やおはなし迷路を楽しんだり、最後まで読書に親しんでいる児童の様子が印象的でした。



【参考：事業の流れ】

前日

- 会場準備 (15:40～16:30)

当日

- ※ 第一部 (1～3年生)
第二部 (4～6年生) に分けて開催
- 開会のあいさつ (5分)
- おはなし会 (20分)
- オリエンテーション (5分)
- 本選び・貸出・感想 (45分)

【学校図書館講師派遣】 「わたしの推し本どうアピール？ ～この1冊！の展示～」

北海道高等学校文化連盟 室蘭支部図書研究大会第1分科会

6月16日、令和5年度北海道高等学校文化連盟室蘭支部図書研究大会第1分科会において、「わたしの推し本どうアピール？～この1冊！の展示～」をテーマに道立図書館職員が講演を行いました。

学校図書館における図書委員や図書局員の仕事や本の魅力を最大限に伝える展示のポイントについての講演後、参加した学生は、色鉛筆や色紙、シールなどを使って、それぞれが持参した本のPOPを作成しました。作成後は、グループ内で1人ずつ展示イメージについて発表したり、おすすめの本との出会いについて、お互いに話をしながら交流することができました。

会場である北海道登別青嶺高等学校図書室内では、イラスト付きでわかりやすい図書の分類表示や企画展示があり、とても工夫されている様子でした。今後もよりよい図書室の活動を期待しています。



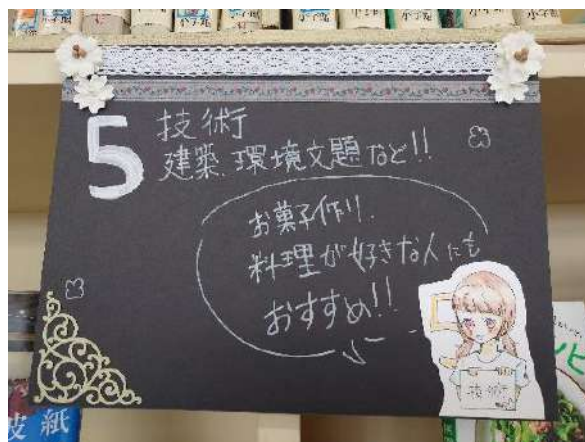
講演の様子



おすすめの本を紹介している様子



図書局員が選ぶ今月の企画展示



図書室内 分類の表示



「児童・生徒にとっても身近で頼られる存在に」

～ 学校図書館協力貸出しと電子図書館の推進 ～

市町村では、地域の学校図書館との連携・協力のひとつとして、学校図書館に対して資料の貸出を行っている図書館（室）が数多くありますが、道立図書館においても「学校図書館協力貸出し」と位置づけ、道内の小・中・高等学校及び特別支援学校に設置された学校図書館を対象に、平成27（2015）年度から蔵書の貸出しを行っています。児童・生徒の調べものにもっといろいろな本を使いたい時や、資料展示にいつもと違う本を使いたい時など、様々な図書を学校で簡単に借りることができます。今年度は、SDGs や LGBTQ 関連の図書、人気作家の作品など様々なテーマの申込みがあり、授業での調べものの時間や図書室での展示に活用されています。

貸出しの申込みを希望する学校は事前に「学校図書館協力貸出し利用登録申込書」により登録をお願いします。道内の小・中・高等学校特別支援学校など144校が登録（令和5年7月20日現在）し、利用しています。詳細については、当館HP「学校の先生方へ>貸出し・調査」のページをご覧ください。

また、「支援貸出事業」として、サポートボックス（学校の朝読や調べ学習等で活用できる本のセット）や事業貸出し（大型絵本、しかけ絵本、エプロンシアター、おはなし迷路、外国語絵本など、イベントや展示などに役立つ資料）もあり、令和5年度からは、学校からの直接申込みを受け付けています。

そのほか、電子図書館「KinoDen」では、約6,800冊の電子書籍を読むことができます。図書を購入するための選書や学習支援の参考に、ぜひご活用ください。

「学校図書館協力貸出し利用登録申込書」によるお申込の際に、道立図書館から学校へログインIDとパスワードを通知しますので、

道立図書館HPの「**図書館ポータル**」へログインし、左側メニュー「電子図書館」を選択後、「KinoDen」バナーをクリックしてご利用ください。なお、図書館IDによる利用は、職員による図書館業務に限られます。

利用登録申込


○「学校図書館協力貸出し利用登録申込書」に必要事項を記入のうえ、道立図書館にお申し込みください。（当館HPに様式あり）

ID・パスワード通知

○登録完了後、道立図書館から学校へログインIDとパスワードを通知します。

図書館ポータルへログイン

○道立図書館HPから「図書館ポータル」へログインし、左側メニュー「電子図書館」を選択後、「KinoDen」バナーをクリックします。



KinoDenにアクセス

○約6,800冊の電子書籍を読むことができます。購入図書の選書や学習支援の参考に、ぜひご活用ください。

【お願い】「KinoDen」以外の「図書館ポータル」メニューは、公立図書館（室）を対象としているため、ご利用はお控えくださるようお願いいたします。

※ 個人利用者（児童・生徒等）として電子図書館を利用する場合は、当館ホームページ「**利用者ポータル**」（要当館利用者カード）からの利用となります。



Web会議「道立高等学校における道立図書館の活用促進に係る説明会」

児童・生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実させるためには、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図ることはもとより、地域の図書館の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や学習活動を充実することが重要とされています。

このことを受け、道立高等学校においても道立図書館が積極的に活用されるよう、事業内容や活用方法などについて共通理解を図ることを目的として、道教育庁の社会教育課、ICT教育推進課、道立図書館が連携し、5月26日(金)、Web会議システム(Zoom)によるオンライン説明会を開催しました。

道立高校(中等教育学校を含む)190校のうち71校から、各校の副校長・教頭、教諭、実習助手(学校図書館担当者)等77名に加え、各教育局の関係職員が参加しました。

まず、学校図書館の計画的な利用や地域の図書館の積極的な活用について、高等学校の学習指導要領に記載されていることをICT教育課から示したあと、道立図書館からは、「学校図書館協力貸出し」の内容を説明し、利用登録時に発行するIDとパスワードを使用すると道立図書館の電子図書館を閲覧できることや、電子図書館の利用方法を案内しました。

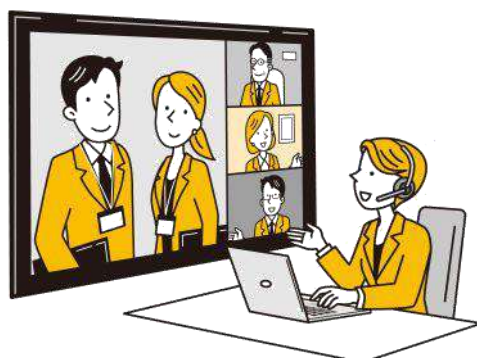
また、家庭科や保健体育などで学校図書館を活用した授業を活発に行っており、この協力貸出しを利用してきた札幌月寒高校からは、「非正規雇用」や「奨学金返済」、「長時間労働」など、借り受けた資料のテーマ設定の例や実際の使い勝手について情報提供がありました。

説明会から1か月半が経過した7月15日までの間に、新たに22校が利用登録し、道立高校の登録校数は71校になりました。

※「学校図書館協力貸出し」について、道立図書館HPに掲載しています。

トップ > 学校の先生方へ > 貸出・調査

(<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/school/qji1ds0000000kr5.html>)



■ こどもの読書週間の行事から

4月23日から5月12日はこどもの読書週間です。(公社)読書推進運動協議会の行事調査で、北海道読書推進運動協議会(事務局:企画支援課)がとりまとめた市町村立図書館(室)の取組から、ピックアップしてご紹介します。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、5月8日から5類感染症に変更となり、図書館で行うイベントについてもより活発になっていくことを期待しています。



(1) 創意工夫された展示あれこれ

- 世界 本の日 本展「BOOKセラピー～本のお薬はあなたのそばの図書館へ～」
根室市図書館
- 「ぐりとぐらとなかまたち」
本別町図書館
- 「えほんどうぶつえん」
壮瞥町地域交流センター図書室



◀世界 本の日 本展「BOOKセラピー～本のお薬は あなたのそばの図書館へ～」 根室市図書館

本の良さを再認識し、親近感を育むことを目的とする「世界本の日」にちなんで、大人向け展示コーナーを設置。「BOOKセラピー」として、利用者のお悩みの症状に効く処方箋(お薬袋に入れ書名を隠した状態の本)を展示しました。

「ぐりとぐらとなかまたち」▶ 本別町図書館

デビュー60周年を記念して、絵本「ぐりとぐら」シリーズを展示しました。

絵本の一場面を再現した図書館ボランティアぶっくる手作りのかわいいマスコットなども合わせて展示し、とても好評でした。





◀ 「えほんどうぶつえん」 壮瞥町地域交流センター図書室

子どもたちが大好きな動物が登場する本を展示しました。動物文学の代表的な作家であるシートンや椋鳩十、絵本作家あべ弘士の本を中心に展示しました。どうぶつクイズのコーナーも作り、とても人気でした。



(2) 体験型イベント

- 「こどもの読書週間特別企画 みてみよう！のってみよう！はたらくくるま」

今金町民センター図書室



図書ボランティアによるパネルシアターや新聞紙話「火事」のほか、消防士からのお話、屋外に移動して消防車試乗体験、消防服の試着体験などを行いました。会場には、乗り物の本の展示や、お土産に消防車形のしおりと消防車のペーパークラフトを子どもたちに渡しました。

(3) 何冊取ることができるかな？えほんが取り札！

- 「えほんでカルタ」

清里町図書館



カルタのように、昔話や誰もが知っているえほんの初めの1文や、えほんのあらすじを読み札にして、その絵本を取っていくという「えほんでカルタ」を行いました。たくさんのえほんをカルタのようにして遊ぶことができ、とても盛り上がりました。



(4) 図書館謎解きイベント

- 「司書探偵」 東川町複合交流施設せんとぴゅあⅡ
- 「カラフルパニック！～抜け出した本をさがせ～」 斜里町立図書館

「司書探偵」

東川町複合交流施設せんとぴゅあⅡ



怪盗モーリーによって黄金の本が盗まれた！
君は取り返すことができるか！？
図書館や分類の仕組みを学びながら、怪盗に盗まれた本を探し出す謎解き体験を行いました。



「カラフルパニック！～抜け出した本をさがせ～」

斜里町立図書館

図書館の本が擬人化した設定のストーリーを追いながら、図書館の中を周遊して、出題される謎を解く体験型謎解きイベント。

ゲームをクリアした参加者には、オリジナルのしおりをプレゼントしました。



(5) 音楽に合わせて読み聞かせ

- 「ぶっくるーむこどもまつり」 本別町図書館

図書館ボランティアぶっくるによる読み聞かせ、網走を拠点とするチーム Mints による演奏と朗読の公演を行いました。

カホンやクラリネット、ホルンを使った演奏の中で読み聞かせが行われ、親子での参加も多くとても楽しい時間になりました。



(6) 全問正解にチャレンジ!

●「めざせ! としょかんクイズ王」

上士幌町図書館



図書館が作成した難易度の異なる4種類のクイズを、参加者は図書館資料を使って解いていきます。36名の小学生が参加し一生懸命、クイズに挑戦していました。全問正解者には「としょかんクイズ王」として賞状を授与しました。

(7) 楽しいワークショップ体験!

●広瀬克也さんワークショップ「妖怪のぼうしを作ろう」

千歳市立図書館

絵本作家広瀬克也氏をお迎えし、自作絵本の読み聞かせや新聞紙を利用したオリジナルの妖怪帽子を作成しました。子どもたちは楽しく創作活動に参加していました。

また、広瀬克也氏作の妖怪絵本やおばけ絵本の展示と共に妖怪ぬりえを配布し、完成作品を館内に展示しました。



(8) どんな絵本が入っているかな?

●ブラインドブック「BOOK デリバリー」

苫小牧市立中央図書館

ピザの箱に、絵本3冊をセレクトしてブラインドブックの形式で貸出しをしました。

以前は、ケーキの箱で貸出ししましたが、今回はピザの箱ごと貸出しをして、その箱は返却はしなくても良いこととして、そのまま利用者の方へ差し上げました。その後、「ピザ屋さんごっこをしたり、物入れとして利活用出来たりした」という声もあり、大変好評でした。



道内図書館キャラクター紹介！

Vol.6

HP や SNS での広報活動のほか、オリジナルグッズの作成などにも力を発揮する図書館キャラクター。道内各地域で活躍中の、個性豊かなキャラクターたちを紹介します！ 説明文・キャラクター画像は各図書館（室）からご提供いただきました。ありがとうございます。



中標津町図書館キャラクター

キャラクターデザインは中標津町出身の絵本作家かわむらすすみさん。さまざまな世代の来館者を道東に生息する動物でイメージし、制作を依頼しました。

2022年の読書週間にキャラクター名を募集したところ、来館者から322件もの応募があり、かわむら氏と図書館職員で決定しました。

館内掲示や配布物、各種イベントで活躍しているほか、中標津町図書館ホームページの特集ページでは、各キャラクターにまつわる物語を読むこともできます（かわむらすすみ作）。

特集ページ http://www.zncs.or.jp/library/lib_6.html

フムフム

好きな言葉は「月日変われば
気も変わる」
体のしずく模様は、その日の
気分で色を塗っている。



リッキー

好きな本は冒険小説と音楽雑誌。
音楽・占い・UFOが好きで、古い世
界地図が宝物。



ナッツ

宝物は光る石と虫眼鏡
工作と折り紙が得意



くまださん

親友は雪虫。冬眠前に年一度会う。
ダウンベストがお気に入り。



シマちゃん

好物はいちごとプリン
3兄弟の末っ子
スタイは雪の結晶柄*

募集!! 図書館キャラ情報

道内の「図書館キャラクター」情報をぜひお寄せください。
自薦・他薦問わず大募集中です！

■ 管内図書館協議会研修会の企画・運営について Part.2

前号 (No.83) では、管内図書館協議会の研修会について、「企画」、「構成」、「時期・日程」、「講師依頼」、「事後アンケート」と項目ごとに開催のポイントを例示しました。今号では、昨年度の研修会について企画段階からお手伝いさせていただいた管内からのレポートとともに関係情報として「地方研究集会への交付金」と「講師等に関する謝金の支給基準」を紹介します。

【事例1】令和4年度空知管内図書館協議会研究集会を主催して

時間帯	内 容
10:00~10:15	受 付
10:20~10:25	開 会
10:30~12:00	「図書館の地域との連携のあり方について考える ~地域を支える図書館を目指して~」 講師 滝川市立図書館 館長 深村 清美 氏
12:00~13:00	休 憩 (昼 食)
13:00~14:30	「利用者対応お悩み相談室！ ~あなたのお悩み解決します~」 講師 北海道立図書館 企画支援課 宮本 浩 氏
14:40~15:30	情報交換 参加図書館の近況報告
15:30	閉 会

開催要項から一部抜粋

空知管内図書館協議会の事務局は、管内を南北に区分して、職員体制が整った市立図書館で2年ごとに持ち回ります。美唄市立図書館では過去に事務局（研究集会の開催等）を担当した職員が誰一人おらず、そのため準備の段階から手探りの状態でした。

そこで、今までの当協議会研修会の運営や経緯等を熟知していると思われる道立図書館

と管内のベテラン職員に相談し、要所要所で企画運営に係る有用なご助言を多くいただき、講師も引き受けていただきました。

この2年間、道内各地の研修会は、コロナ禍によりオンラインでの開催もしくは中止が多かったのではないかと思います。今回対面で開催し20名ほどのご参加いただき、近隣のまちで同じ図書館という仕事に携わっている者同士、限られた時間でしたが、意見交換・情報交換も行うことができました。

今後も住むちは違っても、お互いに助け合いながら仕事をしていける環境をつくれたなら、そのお手伝いを空知管内図書館協議会が出来たならば、これにまさる活動意義はないのではないかと感じたところです。
(寄稿：空知管内図書館協議会(美唄市立図書館) 奥山 敦史 氏)

【事例2】石狩管内図書館協議会事務局を担当して

内 容
(1) 講 演 13時30分~15時00分 「図書館の自由に関する宣言 ---図書館利用記録とプライバシー」 講師：渡邊 重夫 氏 (元藤女子大学 教授)
(2) 事例紹介 15時10分~16時00分 「図書館の課題を考察する」 講師 北海道立図書館 企画支援課 主任 宮本 浩 氏
※15:00~15:10は休憩時間

開催要項から一部抜粋

石狩管内図書館協議会の事務局は、管内の5市で2年ごとに持ち回っています。私は主に研修に関することを任されていたのですが、同じ管内の市町村といえども、その運営や特徴は様々ですので、どのようなテーマを取り上げれば全体として有意義な時間となるだろうかと頭を悩ませました。

そんな折、全道図書館職員専門研修〈経営(関係

法規)〉に注目し、元藤女子大学教授の渡邊重夫氏による「図書館の自由に関する宣言」をテーマとする講演を中心に据えた研修を当管内でも実施することにしました。また後半部も専門研修に倣い道立図書館職員に講師を依頼し、事例紹介による日常業務の課題や自館のサービス、図書館協力について考え見つけ直す機会となりました。この他、石狩教育局からの情報提供や、それぞれの図書館の現状について意見交換を行いました。

今回の研修会の企画は、事務局を務めたことがない職員ばかりでしたので、手探りで進めたところもありましたが、コロナ禍で対面での開催が数年ぶりであったこともあってか、活発な発言や意見が交わされ、大変嬉しく感じました。貴重な時間を割いて足を運んでいただくことへの緊張感も体感しました。今後も有意義な時間を共有できるよう事務局としての職務を全うし、バトンをつないでいけるよう身を引き締めて取り組みたいと思います。
(寄稿：石狩管内図書館協議会(石狩市民図書館) 吉岡 律子 氏)

【情報提供1】地方研究集会への交付金

北海道図書館振興協議会では各管内図書館協議会等が主催する事業に対して地方研究集会費を交付しています。この交付金は、各管内における研修会や研究集会等を「地方研究集会」として、その運営に係る経費に対して、上限を75,000円（2管内合同開催の場合は、150,000円）として、申請により交付します。交付の対象経費は、報償費（講師謝金）、旅費（交通費・旅行雑費・宿泊料・宿泊雑費）、需用費（消耗品費・食糧費・印刷製本費）、役務費（通信運搬費）、使用料及び賃借料（会場借上等経費）です。申請・報告の書類様式は、道立図書館ホームページの[図書館ポータルサイト](#)に、次のとおり格納しています。

格納場所:情報共有ファイル>ファイル一覧>10 団体>北海道図書館振興協議会
フォルダ名:「地方研究集会」

【情報提供2】講師等に関する謝金の支給基準

昨年度、北海道図書館振興協議会として研修事業等に関する講師等への謝金の支給基準を次のとおり決めました。各管内の研修会等においても参考資料としてご活用ください。

北海道図書館振興協議会の研修事業等の講師等に関する謝金の支給基準

(令和5年3月30日 北海道図書館振興協議会長決定)

区分		1時間当たりの金額	備考
図書館	都道府県・市町村立図書館長	4,000～6,000円	
	都道府県・市町村立図書館職員	3,000～5,000円	
	国立国会図書館職員	—	講師の旅費(交通費・宿泊費)は申込者負担、謝礼金は不要
	上記以外の図書館長	6,000～12,000円	
	上記以外の図書館職員	4,000～9,000円	
大学・短大 専門学校等	学長	10,000～20,000円	
	教授、准教授	7,000～13,000円	
	講師、助教、助手	5,000～10,000円	
	学生(大学生・大学院生)	950～1,200円	
民間企業・団体	民間企業・団体等の長・役員	9,000～14,000円	
	民間企業・団体等の技術専門職員 学校図書館スーパーバイザー、日本図書館協会認定司書、絵本専門士、絵本セラピスト	8,000～12,000円	
	民間企業・団体等の職員 出版者、編集者、書店員、NPO職員	5,000～10,000円	
官公庁	国の機関の長(出先機関の長)	7,000～13,000円	
	国の機関の職員(出先機関の職員)	5,000～10,000円	
	都道府県・市町村の長	8,000～12,000円	
	各教育委員会教育長	4,000～6,000円	
	都道府県・市町村の職員 各種委員、アドバイザー、社会教育主事、学芸員、地域おこし協力隊、ボランティア	3,000～5,000円	
学校	学校長	4,000～6,000円	
	副校長、教頭、教諭、司書教諭、学校司書等	3,000～5,000円	
その他	小説家、作家、アナウンサー、評論家、ジャーナリスト、議員	10,000～13,000円	

※そのほか上記によりがたい場合は、依頼先の業績、経験値等を勘案し、個別に定める。

■ お知らせ・お役立ち情報

サポートブックス継続募集！

2期・後期・3期 **追加募集** のお知らせです

学校の朝読、調べ学習等で活用できる本をセットで貸出します。学校図書館や学級文庫等をはじめ、図書館（室）での貸出しなど、いろいろな使い方ができる便利なセットです。中高生向け図書や授業に役立つ図書を揃えたいと考える図書館にとって、選書の参考になるセットも用意しています。

2期・後期・3期の募集は**残り33セット**（発行日現在）。申込みは先着順で承っておりますので、まずは電話等でお気軽にお問い合わせください。



	募集中のセット名	冊数	募集セット数	貸出期間
2期	「アイヌ文化はじめてセット」	約40冊	1セット	令和5年8月下旬 ～ 12月下旬
	「文化歴史ボックス」	約40冊	2セット	
	「自然ボックス」	約40冊	1セット	
	「小学国語（光村3年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（光村4年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（光村5年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（光村6年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（教育3年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（教育4年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（教育5年）セット」	約40冊	1セット	
「小学国語（教育6年）セット」	約40冊	1セット		
後期	「体力向上・スポーツボックス」	約180冊	2セット	令和5年10月下旬 ～ 令和6年3月下旬
	「朝読・昼読ボックス」	約120冊	2セット	
	「食育ボックス」	約150冊	1セット	
	「理科読セット」	約200冊	2セット	

3 期	更新 「大きな文字の青い鳥文庫」	約40冊	1セット	令和6年1月下旬 ～ 3月中旬
	「アイヌ文化はじめてセット」	約40冊	1セット	
	「文化歴史ボックス」	約40冊	2セット	
	「自然ボックス」	約40冊	2セット	
	「小学国語（光村3年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（光村4年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（光村5年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（光村6年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（教育3年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（教育4年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（教育5年）セット」	約40冊	1セット	
	「小学国語（教育6年）セット」	約40冊	1セット	

第63回北海道図書館大会を開催します。

今年の北海道図書館大会は、4年ぶりの会場開催です。積極的なご参加をお願いします。

- テーマ：「これからの図書館を考える～あらゆる情報を、すべての人に～」
- 期間：令和5年（2023年）9月7日（木）～8日（金）
- 会場：北海道立道民活動センター かでる2・7（JR札幌駅から徒歩13分）

【主な内容】

- 基調講演：「北海道のアイデンティティを確認するための地域アーカイブという考え方」（東京大学名誉教授 根本 彰 氏）
- 第1分科会「利用者の多様性に配慮したプレゼンテーション（伝え方）について」（主管：私立短期大学図書館協議会北海道地区協議会）
- 第2分科会「公共図書館と大学が連携した『認知症にやさしい図書館』事業について」（主管：北海道図書館振興協議会）
- 第3分科会「博物館の情報資源と博物館図書室の活動」（主管：専門図書館協議会北海道地区連絡会）
- 第4分科会「館種を超えた図書館サービスの連携・協力」（主管：北海道地区大学図書館協議会）
- 第5分科会「子どもたちの心と学びを豊かに～公共図書館と学校図書館との連携をいかに進めるか～」（主管：北海道学校図書館協会）

日程や内容の詳細は大会サイトをご覧ください。

参加申込みもインターネットで受け付けています（～8月21日）。

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/doc/taikai2023>



2023 年春 こどもの読書週間の主な講師等一覧

「2023・第65回こどもの読書週間」開催行事の調査回答をもとに、主な講師一覧を作成しました。次年度以降の参考にご紹介します。(敬称略)

1 講演・講座・ワークショップ

	講師名	事業概要等	市町村	開催日
1	広瀬 克也 (絵本作家)	広瀬克也さんワークショップ 「妖怪のぼうしをつくろう！」	千歳市	4/23
2	井上 みほ子 (瑞雲舎社長)	講演会 絵本の「ことば」 ～文字が声に変わる読み聞かせ～	苫小牧市	4/29
3	かとう まふみ (絵本作家)	かとうまふみさんワークショップ	登別市	5/13
4	堀川 真 (絵本作家)	真ちゃんの創作教室スペシャル	剣淵町	4/29
5	いしかわ こうじ (絵本作家)	絵本の里 de いしかわこうじえほんライブ in 絵本の館 絵本の里 de いしかわこうじワークショップ in 絵本の館	剣淵町	5/3
6	よしなが こうたく (絵本作家)	絵本作家★よしながこうたくライブペイント 絵本作家・よしながこうたく魂のライブペイント 絵本作家 よしながこうたくライブペイント	紋別市 滝上町 興部町	4/23 4/22 4/22
7	とよた かずひこ (絵本作家)	とよたかずひこ講演会	足寄町 上士幌町	5/13 5/14
8	おがわ ひろき (絵本作家)	キッズブックフェス (読み聞かせ、缶バッチ作り)	清水町	5/6 5/7
9	高木 真美 (絵本専門士)	読書活動講演会 「子どもの読書とみんなの図書館」	弟子屈町	5/28

2 人形劇・読み聞かせ等

	講師名	事業概要等	市町村	開催日
10	人形劇団野良犬 plus	背負子人形劇「たぬきの恩返し」	夕張市	4/29
11	人形劇団オセロ 人形劇団あっぷるぱい	親子のためのパペットシアター	恵庭市	5/7
12	小樽子ども劇場人形劇サークル ぐうちよきぱあ	ぐうちよきぱあのおはなし会 SP	小樽市	5/6
13	こぐれけいすけ (絵本作家)	こぐれけいすけスペシャル	小樽市	5/6

	講師名	事業概要等	市町村	開催日
14	神保康子 (絵本セラピスト)	おはなし会	小平町	5/13
15	クレヨンカンパニー	クレヨンカンパニーの いろいろげきじょう 2023	網走市	5/14

3 音楽・俳句

	講師名	事業概要等	市町村	開催日
16	アカシヤ俳句会 富良野支部	こども俳句教室	富良野市	4/22 4/23
17	チーム Mints	演奏と朗読の公演	本別町	4/22

- ・各事業の詳細については、実施市町村へお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。
- ・読書週間調査は、毎年、春と秋に各市町村にご協力いただき、北海道読書推進運動協議会事務局で集約し、公益社団法人読書推進運動協議会へ提出しているものです（今回は、主に4～5月に実施された行事を対象にしています）。



「キッズブックフェス」(清水町)



「とよたかずひこ講演会」(士幌町)



「クレヨンカンパニーのいろいろ劇場」
(網走市)



「とよたかずひこおたる子ども読書の日」
(小樽市)



「こども俳句教室」(富良野市)

令和5年度「北海道青少年のための200冊」選定

今年度も「北海道青少年のための200冊」（選定：北海道青少年育成協会、選定協力：北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会）の目録やポスター等を道立図書館から各市町村立図書館等あてに送付しています。

■ 選定委員会に出席して

令和5年度「北海道青少年のための200冊」の選定委員会が4月10日（月）に開催され、「北海道読書推進運動協議会」の事務局をつとめる道立図書館の企画支援課からも職員が出席しました。

令和5年度は、200冊のうち、45冊を新しく入れ替える本として選定しました。これらの本は、北海道学校図書館協会選定部の先生方が、月2回実施する選定会の中で“読んで、読んで、読みまくり”、検討を重ねて選んだ多数の選定候補作品をもとに、この選定委員会で決定したものです。「何のものにもくじけない、強じんな開拓精神を育てるために。」など5つのねらいを掲げた「選定の柱」のほか、北海道の地域性や児童生徒の発達段階、道内書店での入手可能性、求めやすい価格にも留意しながら、大変な熱量で選定されています。

■ 子どもたちの心に残る一冊のために、是非、ご活用ください

市町村では、「北海道青少年のための200冊」のコーナーを設置して、図書目録の配付や、目録に掲載された本の展示を行っている図書館等がたくさんあります。子どもたちが、心に残る一冊に出会えるよう、是非ご活用ください。

※ 北海道青少年育成協会のページ

HOME > 青少年育成運動 > 北海道青少年のための200冊

<http://www.ikuseikyo.jp/youth/200books.html>



「道民家庭の日」イメージキャラクター『ほーほーくん』

津別町図書館オープン！ 道内の図書館設置率60.3%に！

令和5年7月1日、津別町図書館がオープンしました。町の中心市街地に建設されたスーパー等含む複合施設の2階に専有面積約1,000㎡、旧図書室の約5倍の広さで設置されました。

オープン当日の様子は、町のYouTubeチャンネル「北海道津別町（愛林のまち つべつ）」で紹介されており、館内の賑わいと町民の待ち望んだ様子が伺えます。

多くの町民に支えられ進化する津別町の活動に期待します。



*北海道内の公立図書館：市(34)+町村(74)=計108 設置率 60.3%

町のYouTubeチャンネル

例えば…

こんなときは、お知らせください！



- ・施設を新築・改築します
- ・OPACを公開します
- ・電子図書館を導入します

編集後記



今号も市町村の皆さんから多くの寄稿・情報提供をいただきました。「本と住民」をつなぐユニークな取り組みをご覧ください。

今年度、市町村活動支援事業は**図書館活動支援事業**と名称を改め、よりパワーアップした内容で展開していますが、小特集として学校図書館への支援活動のいくつかを取り上げました。皆さんのところでも学校図書館へのサポートや連携したイベント開催など、積極的に取り組まれていることでしょう。

今年3月に示された「北海道子どもの読書活動推進計画<第五次計画>」においても学校図書館は大きなキーワードのひとつです。子どもたち皆が使う学校図書館の環境整備は地域の子どもの読書活動を推進する上で重要なポイントです。

年度の中盤以降は、各管内の図書館協議会による研修会も開催されます。前号に続き、関連情報を掲載しましたので、是非ご活用ください。



企画支援課では、みなさんの図書館（室）の活動の情報を集めています。

好評だった事業、新しく始めた取組、ホームページのリニューアルなどなど、いつでも受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想も歓迎します。よろしくお願ひします。

shienka@library.pref.hokkaido.jp

あけぼのつうしん No. 84

発行日 令和5年（2023年）8月13日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <https://www.library.pref.hokkaido.jp/>